

事業概要シート

施策	1304	畜産業の振興	<<>の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く
事業名	畜産クラスター推進事業	拡充	予算額 316,206 千円 << 0 >>千円
事業期間	平成28年度 ~	財源内訳	国庫支出金 298,206 千円 県支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 18,000 千円
根拠法令要綱等	大村市農林水産振興事業補助金交付要綱		

【事業の目的・概要・対象】

(目的)

畜産の収益力・生産基盤を強化するため、畜産クラスターを軸とした生産コストの削減、規模拡大、肉用牛の生産拡大等、地域一体となって行う取組を支援する。

(概要)

畜産クラスターとは、畜産農家と地域の関係者が連携し、地域ぐるみで高収益型の畜産を実現するための体制をいい、国は畜産クラスターの構築を全国的に推進し、畜産の施設整備等にかかる費用の一部を補助しており、市も補助する。

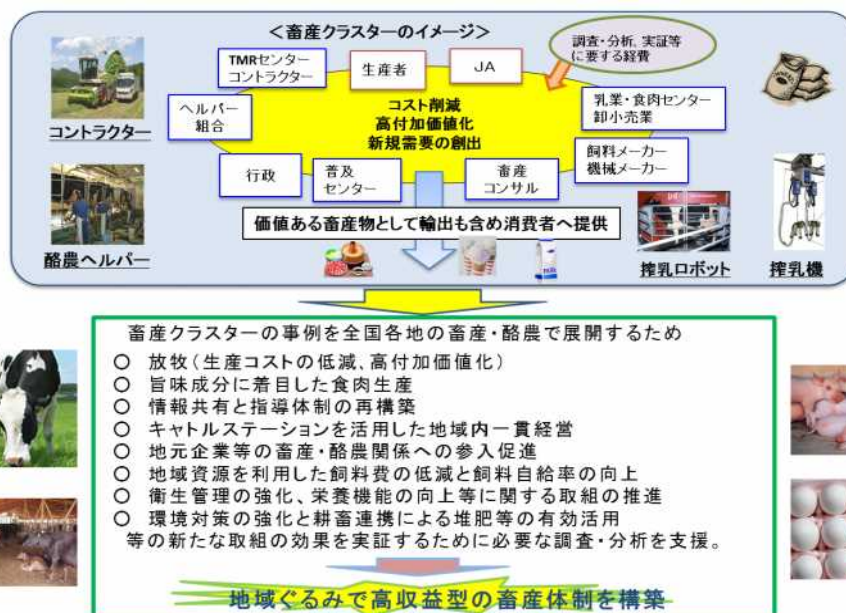
《R6年度取組事業主体》

○県央肥育クラスター協議会

事業内容 バイオマス燃料を活用した堆肥発酵処理施設の設置（堆肥発酵処理施設1基、バイオマスボイラー1基）

実施主体 農業生産法人株式会社ダイテク

事業費 596,412千円（内補助額：国(1/2)298,206千円、市(1/10,上限18,000千円)18,000千円）



【背景】

高齢化（後継者や担い手不足）、防疫及び環境問題、コスト高等により畜産農家数が減少しているなか、TPP11、日EU・EPAに続き、日米貿易協定が発効されるなど、日本の畜産を取り巻く環境は大きく変化している。

一方で、米国向け牛肉輸出低関税枠拡大や対中輸出再開に向けた動きなど、和牛に対して世界から注目が集まっており、畜産クラスターを推進することで、畜産関係者が更に連携を深め、体質強化や経営安定を図り、地域の活性化に取り組む必要がある。

担当課	産業振興部農林水産振興課	課長	山田 充哉
担当者	関 将史	問合せ先	0957-53-4111（内線253）

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	R 4 (実績)	R 5 (計画)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)
①	畜産クラスター協議会数	組織	2	3	3	3	3
②							

【成果指標】

指標名		単位	R 4 (実績)	R 5 (計画)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)
①	4月1日現在の市内飼養頭羽数	頭・羽	136,252	136,500	200,000	200,000	200,000
②							

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	合計
事業費	200,250	0	0	316,206	0	0	516,456
国庫支出金	182,250			298,206			480,456
県支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源	18,000			18,000			36,000
人件費	2,428	0	0	0	0	0	2,428
職員(人)	0.33人						0.33人
時間外勤務(h)	14h						14h
会計年度任用職員(人)							0.00人
フルコスト	202,678	0	0	316,206	0	0	518,884

妥当性 (市の関与)	飼育頭数の維持・拡大を推進していくうえで、地域が一体となって取り組むクラスター協議会を支援することは、市の関与は妥当である。
有効性 (施策貢献度)	本事業の推進により、生産性の向上及び効率性の向上が図られることから、施策貢献度は高い。
効率性 (コスト)	必要最小限の事業費で計画されており、国からの補助の適用を受け実施されるものであることから、効率性は高い。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	一次評価のとおり